

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成29年2月10日

計画の名称	彦根市における良好な水環境の形成と市街地の浸水対策の実現に向けて		
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度（5年間）	交付対象	彦根市
計画の目標	河川や琵琶湖の水質保全と住民の快適な生活基盤を創造するため、公共下水道の整備促進を図る。 集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、流域が一体となって総合的な浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。		

計画の成果目標（定量的指標）	公共下水道の処理人口普及率を75.5%（H23当初）から80.0%（H27末）に増加させる。 公共下水道施設における長寿命化計画策定率を0%（H23当初）から100.0%（H27末）にする。 都市浸水対策の整備達成率を11.3%（H23当初）から11.5%（H27末）に増加させる。 公共下水道施設における総合地震対策計画策定率を0%（H25）から100.0%（H27末）にする。
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考		
	当初現況値 （H23当初）	中間目標値 （H25末）	最終目標値 （H27末）			
公共下水道の処理人口普及率 処理区内人口（人） / 行政区域内人口（人） : 住民基本台帳による	112,620（人）	: 住民基本台帳による	75.5%	78.2%	80.0%	
長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済み地区（箇所） / 長寿命化計画を策定すべき地区（箇所）	1（箇所）		0%	0%	100.0%	
都市浸水対策の整備達成率 1/10規模での雨水排除が可能な区域（ha） / 浸水対策計画決定区域（ha）	1886（ha）		11.3%	11.4%	11.5%	
下水道総合地震対策計画策定率 下水道総合地震対策計画済み計画（箇所） / 下水道総合地震対策計画を策定すべき計画（箇所）	1（箇所）			0%	100.0%	

全体事業費	合計 (A + B + C)	2,740百万円	A	2,718百万円	B	-	C	22百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	0.8%
-------	-------------------	----------	---	----------	---	---	---	-------	-------------------------------	------

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
彦根市公共下水道事業審議会において意見を聞いて実施。	平成29年2月3日実施。 公表の方法 彦根市公式ウェブサイトにて公表。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業												全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						
											H23	H24	H25	H26	H27		
A1 下水道事業																	
1-A1-1	下水道	一般	彦根市	直接	-	汚水	新設	東北部処理区関連 汚水管の整備	汚水管 =150～400mm L=21.7km	彦根市						2,400	
1-A1-2	下水道	一般	彦根市	直接	-	汚水	改築	彦根市公共下水道長寿命化計画策定（点検・調査含む）	管路施設（マンホールソフ含む）	彦根市						50	長寿命化
1-A1-3	下水道	一般	彦根市	直接	-	汚水	改築	彦根市公共下水道長寿命化対策実施	マンホール蓋取替 N=178箇所 マンホールソフ取替 N=5箇所	彦根市						60	長寿命化
1-A1-4	下水道	一般	彦根市	直接	-	雨水	新設	高宮新川第1排水区	雨水渠 U700×1100～1400×1900 L=250.2m	彦根市						58	
1-A1-5	下水道	一般	彦根市	直接	-	雨水	新設	猿ヶ瀬排水区	雨水渠 2600×1800 L=116.8m	彦根市						80	
1-A1-6	下水道	一般	彦根市	直接	-	汚水	改築	彦根市公共下水道総合地震対策（点検・調査含む）	管路施設	彦根市						30	総合地震
1-A1-7	下水道	一般	彦根市	直接	-	雨水	改築	効率的な施設計画の見直し	施設計画の見直し	彦根市						10	
1-A1-8	下水道	一般	彦根市	直接	-	汚水	改築	効率的な施設計画の見直し	施設計画の見直し	彦根市						30	
合計																2,718	

B 関連社会資本整備事業												全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）							
											H23	H24	H25	H26	H27		
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
1-C-1	下水道	一般	彦根市	直接		新設	東北部処理区関連の汚水管の整備(支線)	汚水管 150~200mm L=0.0km	彦根市						0		
1-C-2	下水道	一般	彦根市	間接	個人	排水設備	東北部処理区内排水設備設置	宅内排水設備 0戸	彦根市						0(2)		
1-C-3	下水道	一般	彦根市	直接		改築	彦根市公共下水道長寿命化計画策定(点検・調査含む)(支線)	管路施設	彦根市						10	長寿命化	
1-C-4	下水道	一般	彦根市	直接		新設	ハザードマップ作成	彦根市内水ハザードマップ作成(市内全域)	彦根市						4		
1-C-5	下水道	一般	彦根市	直接		改築	彦根市公共下水道総合地震対策(点検・調査含む)(支線)	管路施設	彦根市						4	総合地震	
1-C-6	下水道	一般	彦根市	直接		改築	彦根市公共下水道長寿命化対策実施(支線)	マンホール蓋取替 N=14箇所	彦根市						2	長寿命化	
合計																22	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	基幹事業(1-A1-1)と接続する汚水管渠(支線)を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。	
1-C-2	基幹事業(1-A1-1)の整備に併せ、地域住民の宅内排水設備設置に対して助成を行い下水道の普及促進を図る。	
1-C-3	基幹事業(1-A1-2)と接続する汚水管渠(支線)を一体的に点検調査することで、適切なストックマネジメントシステムの構築を図る。	
1-C-4	ハザードマップの公表により、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る。	
1-C-5	基幹事業(1-A1-6)と接続する汚水管渠(支線)を一体的に計画(点検・調査含む)することで、適切な整備促進を図る。	
1-C-6	基幹事業(1-A1-3)と接続する汚水管渠(支線)を一体的に整備することで、適切な整備促進を図る。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚水管の整備により、公共下水道の処理人口普及率の向上が図れた。</li> <li>・下水道長寿命化計画の策定と対策を実施したことにより、下水道施設の適正な施設管理が図れた。</li> <li>・浸水対策の実施により、都市浸水対策の整備達成率が向上し、浸水被害の軽減が図れた。</li> <li>・総合地震対策計画の策定と対策の実施により、下水道施設の耐震化や減災対策が図れた。</li> </ul>				
定量的指標の達成状況	指標 (公共下水道の処理人口普及率)	最終目標値	80.0%	目標値と実績値に差が出た要因	市単独事業と合わせて効率的な整備を実施したことにより、公共下水道の整備促進が図れた。	
		最終実績値	80.5%			
	指標 (長寿命化計画策定率)	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因		計画どおり実施できた。
		最終実績値	100.0%			
	指標 (都市浸水対策の整備達成率)	最終目標値	11.5%	目標値と実績値に差が出た要因		計画どおり実施できた。
		最終実績値	11.5%			
	指標 (下水道総合地震対策計画策定率)	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因		計画どおり実施できた。
		最終実績値	100.0%			
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な施設計画の見直しを行い、事業計画の変更が実施できた。</li> </ul>				

3. 特記事項(今後の方針等)

・今後も引き続き、河川や琵琶湖の水質保全と住民の快適な生活基盤を創造するため、公共下水道の整備促進を図る。  
また、流域が一体となった総合的な浸水対策を実施することにより、昨今の集中豪雨やゲリラ豪雨の被害リスクに強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。

# 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	彦根市における良好な水環境の形成と市街地の浸水対策の実現に向けて		
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	彦根市

彦根市 - 1

## 彦根市公共下水道（污水）

凡例	
	整備済区域
	整備計画区域 (基幹事業)
	整備計画区域 (効果促進事業)
	基幹事業
	効果促進事業
	処理分区界
	下水道法による 事業計画区域

河瀬北処理分区  
1-A1-1 汚水管の整備  
L=5.8km

- 1-A1-2 彦根市公共下水道長寿命化計画策定（点検・調査含む） 管路施設（マンホールポンプ含む）
- 1-A1-3 彦根市公共下水道長寿命化対策実施 マンホール蓋取替 N=178箇所 マンホールソケット取替 N=5箇所
- 1-C-2 東北部処理区宅内排水設備設置 宅内排水設備 N=0戸
- 1-C-3 彦根市公共下水道長寿命化計画策定（点検・調査含む）（支線） 管路施設
- 1-A1-6 彦根市公共下水道総合地震対策計画策定（点検・調査含む） 管路施設
- 1-C-5 彦根市公共下水道総合地震対策計画策定（点検・調査含む）（支線） 管路施設
- 1-A1-8 効率的な施設計画の見直し 施設計画の見直し
- 1-C-6 彦根市公共下水道長寿命化対策実施（支線） マンホール蓋取替 N=14箇所

彦根中処理分区  
1-A1-1 汚水管の整備  
L=0.8km

番号	要素となる事業名	事業内容
1-A1-1	東北部処理区閉鎖の汚水管の整備	汚水管 150～400 L=21.7km
1-A1-2	彦根市公共下水道長寿命化計画策定（点検・調査含む）	管路施設（マンホールソケット含む）
1-A1-3	彦根市公共下水道長寿命化対策実施	マンホール蓋取替 N=178箇所 マンホールソケット取替 N=5箇所
1-A1-6	彦根市公共下水道総合地震対策（点検・調査含む）	管路施設
1-A1-8	効率的な施設計画の見直し	施設計画の見直し

番号	要素となる事業名	事業内容
1-C-1	東北部処理区閉鎖の汚水管の整備（支線）	汚水管 150～200 L=0.0km
1-C-2	東北部処理区宅内排水設備設置	宅内排水設備 N=0戸
1-C-3	彦根市公共下水道長寿命化計画策定（点検・調査含む）（支線）	管路施設
1-C-5	彦根市公共下水道総合地震対策（点検・調査含む）（支線）	管路施設
1-C-6	彦根市公共下水道長寿命化対策実施（支線）	マンホール蓋取替 N=14箇所

鳥居本処理分区  
1-A1-1 汚水管の整備  
L=1.3km

稲枝東処理分区  
1-A1-1 汚水管の整備  
L=1.1km

彦富処理分区  
1-A1-1 汚水管の整備  
L=1.5km

稲枝処理分区  
1-A1-1 汚水管の整備  
L=0.0km

安食南処理分区  
1-A1-1 汚水管の整備  
L=1.8km

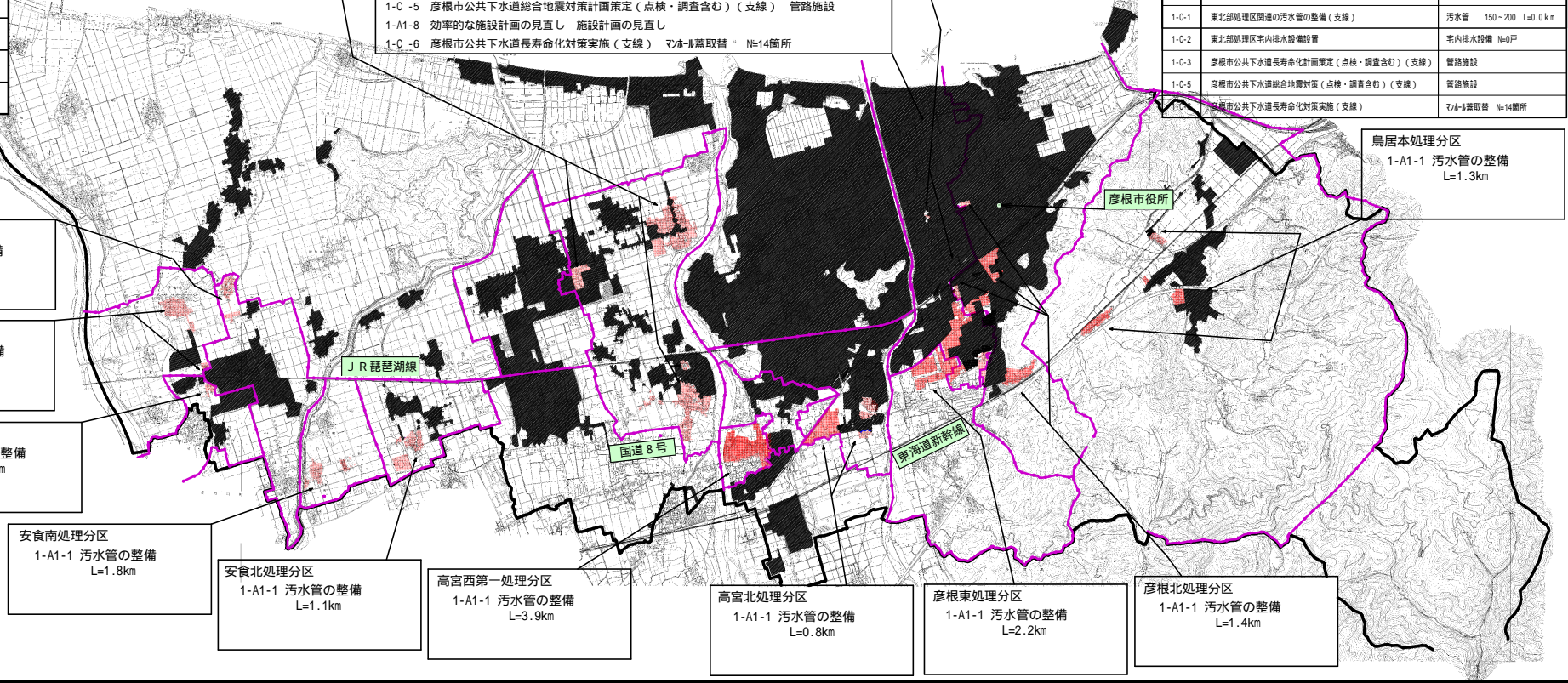
安食北処理分区  
1-A1-1 汚水管の整備  
L=1.1km

高宮西第一処理分区  
1-A1-1 汚水管の整備  
L=3.9km

高宮北処理分区  
1-A1-1 汚水管の整備  
L=0.8km

彦根東処理分区  
1-A1-1 汚水管の整備  
L=2.2km

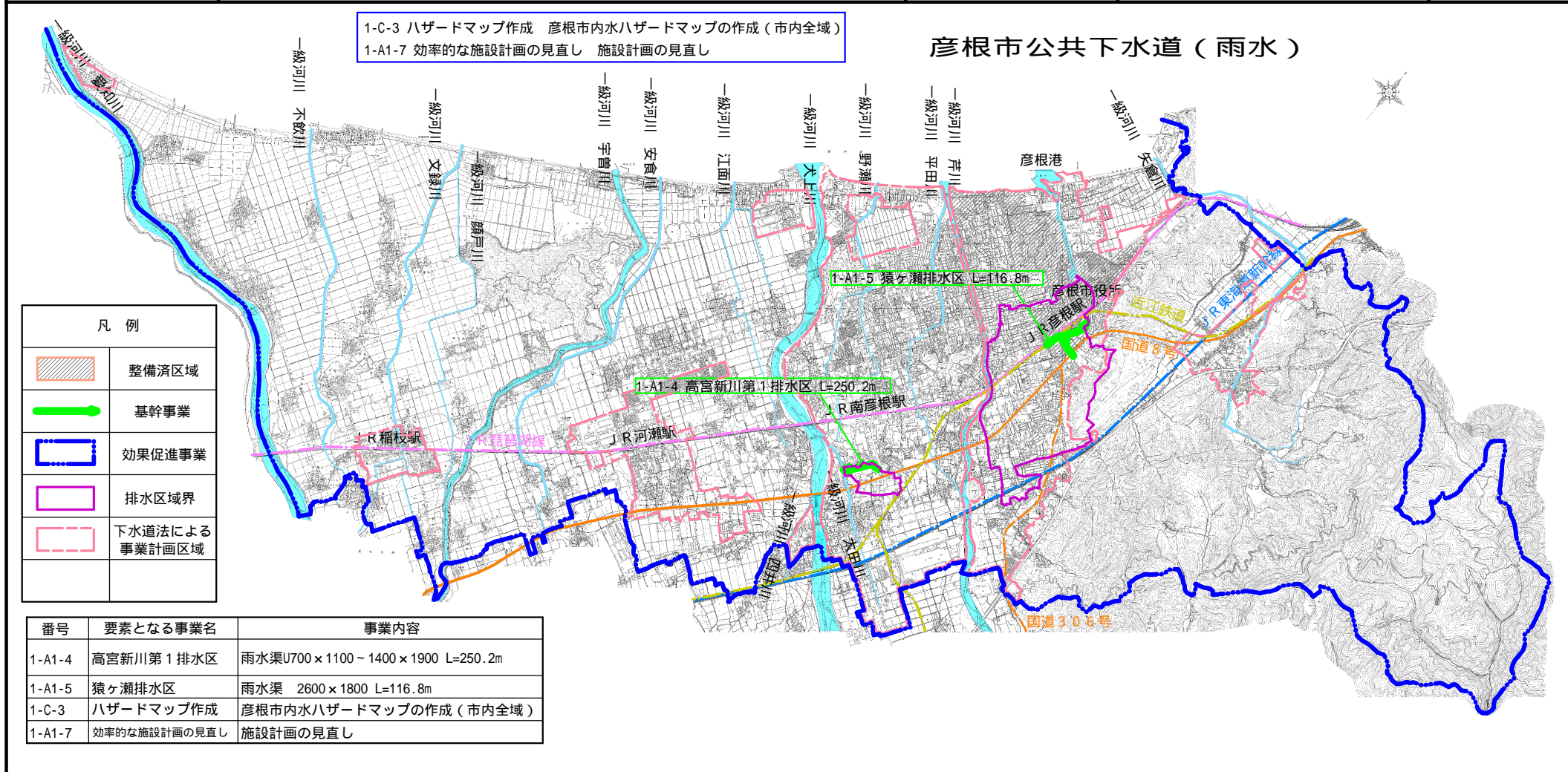
彦根北処理分区  
1-A1-1 汚水管の整備  
L=1.4km



# 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	彦根市における良好な水環境の形成と市街地の浸水対策の実現に向けて		
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	彦根市

彦根市 - 2



# 社会資本総合整備計画における成果指標について

彦根市

事業種別	計画名称	計画期間	計画の目標	成果指標				所管課	全体事業費 (百万円)
				指標名	内容	指標値 (目標値)	実績値		
下水道	彦根市における 良好な水環境の 形成と市街地の 浸水対策の実現 に向けて	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)	河川や琵琶湖の水質保全と住民の快適な生活基盤を創造するため、公共下水道の整備促進を図る。 集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、流域が一体となって総合的な浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。	公共下水道の処理人口普及率	処理区内人口(人) / 行政区域内人口(人) : 住民基本台帳による	80.0%	80.5%	下水道建設課	2,400
				長寿命化計画策定率	長寿命化計画策定済み地区(箇所) / 長寿命化計画を策定すべき地区(箇所)	100.0%	100.0%	下水道建設課	50
				都市浸水対策の整備達成率	1/10規模での雨水排除が可能な区域(ha) / 浸水対策計画決定区域(ha)	11.5%	11.5%	道路河川課 市街地整備課	138
				下水道総合地震対策計画策定率	下水道総合地震対策計画済み計画(箇所) / 下水道総合地震対策計画を策定すべき計画(箇所)	100.0%	100.0%	下水道建設課	30

平成 28 年度 第 4 回彦根市公共下水道事業審議会

( 議事要旨 )

社会資本総合整備計画における成果指標について

会長

社会資本総合整備計画における成果指標についてご意見をいただきたい。

委員

公共下水道の処理人口普及率が「 80 . 5 % 」に伸びた理由はなぜか。

彦根市

補助対象路線と単独路線を一体的に整備した結果です。

また、市街化区域の整備を重点的に行ったことも要因ではないかと考えております。

会長

都市浸水対策の整備率の全体事業費が 1 3 8 百万円となっているのは何か。

彦根市

1-A1-3 高宮新川第 1 排水区と 1-A1-4 猿ヶ瀬排水区の全体事業費の合計です。

会長

この社会資本総合整備計画については、各項目の成果指標もクリアしていることから、概ね評価できるのではないかと思います。

今後も引き続き、第 1 回の審議会で十分説明を受けております第 2 期目の社会資本総合整備計画に沿って、公共下水道事業の進捗が促進されますよう、鋭意努力していただきたいと思います。